

株式の基本がよくわかる

株式 A B C



JPX
JAPAN EXCHANGE
GROUP

JPX
マネ部!ラボ



東京証券取引所

はじめに

「株^{かぶ}」という言葉^をきいて「とっつきにくい」とか「自分とは関係^{かんけい}がない」と考える人は多いと思います。

しかし、私たちの身の回りの商品やサービス^{ていきょう}を提供しているのは、ほとんどが株式^{かぶしきがいしゃ}会社で、何千万人も^の人が株式^{株式}会社で働いています。また、実際に株式^{じっさい}投資^{とうし}をしていなくても、保険^{ほけん}や年金^{ねんきん}に加入^がしていれば、その資金^{しきん}の多くが株式^{株式}で運用^{うんよう}されていることを知^しってほしいと思います。

さらに、日々の株^{かぶ}価^かの動き^はは経済^{けいぎ}や社会^{しゃかい}の動き^をを反映^{はんえい}するとともに、株^株価^価自体^のの動き^がが景気^{けいき}など私たちの生活^{せいかつ}にも大きな影^{えい}響^{きやう}を与^あてています。このように株式^{株式}は、私たちの暮^くらしと深くかかわりあっています。

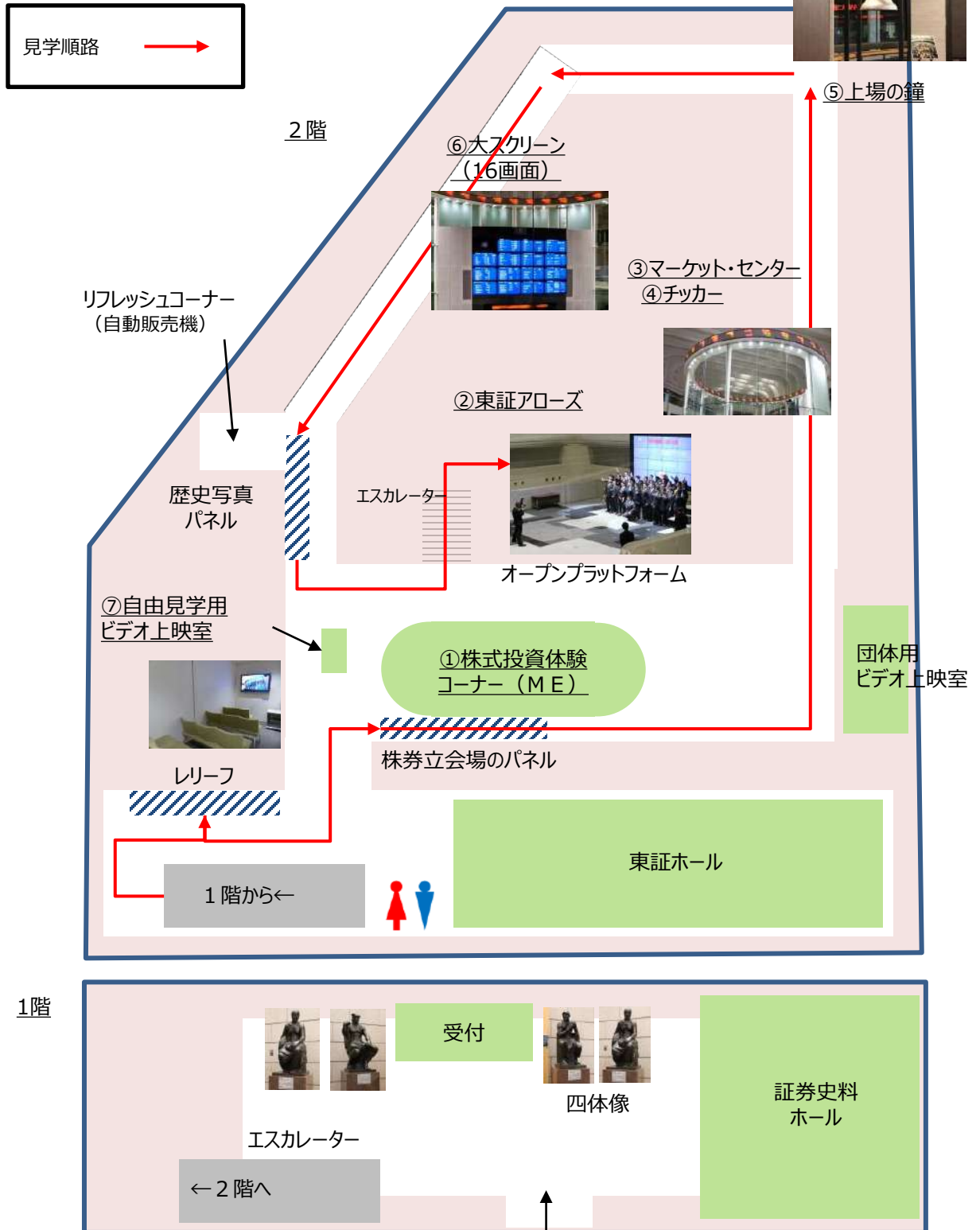
そこで、株式^{株式}の基^き本^{ほん}的^{てき}なしくみなどについて、みなさんがより分^わかりやすく学^{まな}べるよう、この小冊子^{しょうさつし}を作成^{せい}しました。

東証^{とうしやう}での見学^{けんがく}時^{とき}だけではなく、学校^{がっこう}や自宅^{じたく}に帰^{かえ}られた後^{のち}、復^{ふく}習^{しゅう}の際^{さい}に手に取るなど、みなさんの勉強^{べんきやう}のためにお役立^{やくだて}てください。

巻くじ

- 1. 東証アローズについて… 3P**
- 2. 株式会社のしくみ… 5P**
- 3. 株主とは… 10P**
- 4. 株式会社と証券取引所… 11P**
- 5. 証券取引所での取引のルール… 15P**
- 6. 証券取引所の主な仕事… 17P**
- 7. 株価はなぜ動くの… 19P**
- 8. 東京証券取引所の歴史… 27P**

1. 東証アローズについて



① 株式投資体験コーナー（ME：Market Experience）

架空の銘柄を対象に株式売買がオンラインで体験できるシミュレーション施設です。

② 東証アローズ

1999年4月まで「株券売買立会場」と呼ばれていた場所です。広さはテニスコート約4面分、床から天井までの高さは約15mです。当時は、手サインなどを使って取引を行っていました。2000年5月に現在の東証アローズとして生まれ変わりました。

③ マーケットセンター

直径17mのガラス張りのマーケットセンターの中では、取引所の社員が、証券会社から出された売買注文の監視（リアルタイム監視）を行っています。確認が必要と判断すると、証券会社に問合せをしたり、調査専門の社内の部署に相談をします。

④ チッカー

マーケットセンターの上をぐるぐる回るチッカーは1周約50m。売買が成立した順に次々と表示されます。

スピードは4段階。売買が活発な時は早く回り、少ないとゆっくり回るしくみです。

1 段目：銘柄名（会社名）

2 段目：現在の1株当たりの株価

3 段目：前日終値との比較

が表示されています。

⑤ 上場の鐘

昭和初期まで取引の開始の知らせる大きな役目を持っていた鐘は、今は「上場の鐘」とも呼ばれ、イベント等で活躍しています。上場セレモニーでは、上場会社の方たちによる打鐘、大納会・大発会ではゲストの方たちによる打鐘を行います。

⑥ 大スクリーン（16画面）

市場ごとの売買高（取引された株式の数）、売買代金、上場会社数、時価総額などが表示されています。

また、市場全体の動きがわかる株価指数（TOPIX、日経平均株価）などがリアルタイムで確認できます。

⑦ 自由見学用ビデオ上映室

東証アローズの案内ビデオを上映しています。ご自由にご覧ください。

2. 株式会社のしくみ

◎会社とは？

みなさんのまわりにある会社にはどのようなものがあるでしょうか。

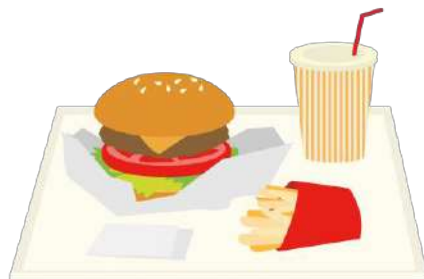
世の中の会社の多くが「株式会社」です。
例えば、みなさんのまわりにはどのような「株式会社」がある
でしょうか。調べてみましょう。

(株)やCo., Ltdは
株式会社の略なのじゃよ
りやく



「シェア先生」

身の回りのもの、毎日使うものは、どんな会社で作っているのか調べてみよう！



◎会社の目的・役割は？

株式会社は、どのような活動をしているのでしょうか。

➤ 会社の目的

商品、サービスを提供することで利益^{りえき}をあげることが目的です。利益をあげるためには、人々が必要としているよい商品、サービスを生み出す必要があります。

- ✓ よりよい商品、サービスを提供するためには、会社はどのような工夫をしているのでしょうか？

➤ 会社の役割

会社が、よりよい商品、サービスを提供することによって、私たちの生活は便利^{べんり}に豊か^{ゆた}になっています。

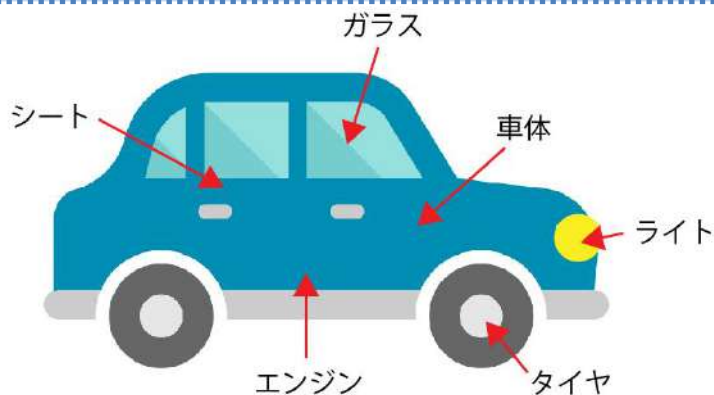
- ✓ 身近なもので、便利になったものを探してみましょう。

「会社がひとつのものを作るまで」

会社が世の中に商品、サービスを提供するまでには、さまざまな会社関わっています。例えば、自動車を1台作るにも、車体やライト、シートといった部品を専門に作る、多くの会社と協力しています。

そのため、自動車が売れると、自動車に関する会社の売上げも伸びるといわれています。

このように会社は、さまざまな立場の会社とよい関係を築き、協力しあうことが不可欠といえます。



◎株式会社の活動のために

いろいろな活動をしている株式会社。活動のための「お金」はどのように用意するのでしょうか。

➤ 会社が活動するためには、多くの資金が長期にわたって必要になります。

- ✓ 商品を作るための材料を手に入れる
- ✓ 人を雇う
- ✓ 工場を作る
- ✓ 研究・開発費 など

➤ 資金はどのように用意すればよいのでしょうか？

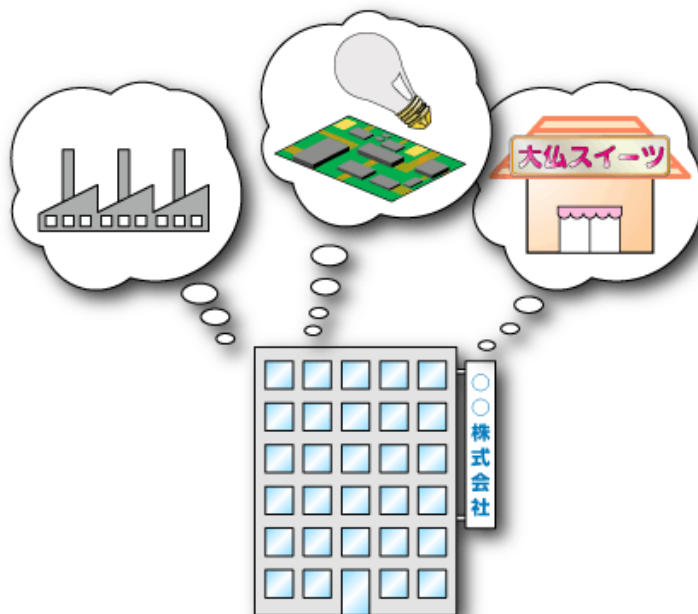
① 預金(貯金)を使う

多額のお金が必要なため、お金を貯めるのに時間がかかる

② 銀行などからお金を借りる

借りる⇒利息をつけて返さなければいけない

③ 多くの人々から少しずつ投資してもらおう → **株式を発行する**



◎株式の発行

「株式を発行する」とは、ということなのでしょうか

お金を出した人＝投資者

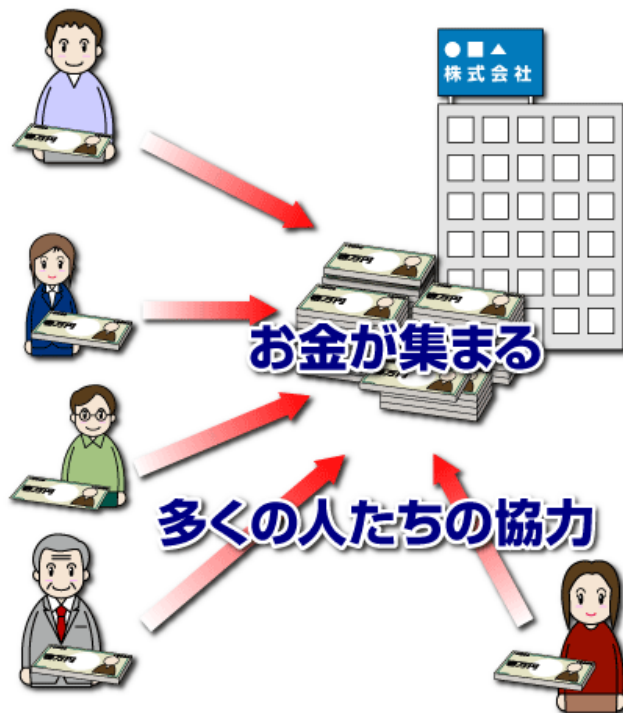
投資者は、出したお金のかわりに、株式をもらいます。株式は、お金を出した人に渡される証明書のようなものです。

株式を発行して資金を集めて事業活動を行う会社のことを「株式会社」といいます。

➤ 株式会社にとっては

ひとりでは出せない多額のお金でも、たくさんの人たちから、少しずつお金を出してもらうことで、資金を集めやすくなります。

株式で集めたお金は返済する必要がないため、長期にわたって資金を使い続けることができます。



株式で集めたお金は、工場を建てたり、研究など長い期間使うことができるのじゃな





「株式会社の起源～オランダ東インド会社～」

16世紀中ごろのヨーロッパでは、さかんに船を使った貿易ぼうえきが行われていました。しかし、船を作るためにはたくさんの費用がかかりますし、万が一船が沈没したり、海賊かいぞくにおそわれた場合、大きな損害そんがいがでます。それをひとりで全てまかなうのは大変です。そこで、1602年に設立されたオランダ東インド会社は、資金を多くの人から集めるため、「株式」を発行しました。このオランダ東インド会社が現代の株式会社の起源だといわれています。

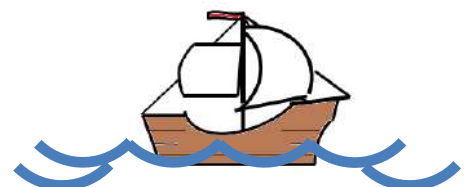
株式を買った人は、貿易で生じた利益をお金を出した割合に応じてもらうことができますし、一方、海賊におそわれるなどで損害が出ても、その損害はみんなで分担することになります。

よりたくさんの利益を出すために大きな船を作る

→そのための資金を株式を通じてたくさんの人から集める

これが株式会社の始まりです。そして、現在の株式会社もしくみはほとんど同じです。

400年以上も前に始まった「株式会社」が、世界中でこれほど普及ふきゅうしているということは、このしくみがいかにすぐれているかという証拠しょうこにほかなりません。



3. 株主とは

会社にお金を出した投資者は株式をもらいます。

株式を持っている人を「^{かぶぬし}株主」といいます。

株主は会社の^{しょゆうしゃ}所有者として、さまざまな^{けんり}権利を持っています。

たとえば・・・

^{はいとうきん}【配当金】

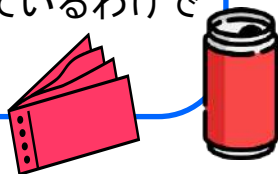
- ✓ 持っている株式の数に応じて会社の利益の一部を配当としてもらえます。



^{ゆうたい}【株主優待】

- ✓ 自社商品や施設利用券がもらえます。

※ 全ての会社が行っているわけではありません。



^{そうかい}【株主総会】

- ✓ 株主総会で意見を言ったり重要な^{けつぎ}決議に投票できます。
- 役員^{せんいん}の選任・解任 ^{かいにん}
- 会社のルール変更



株主は、手に入れた株式を会社から^{はら}払い^{もど}戻してもらうことができません。

それでは、どうやって株式をお金^かに換えたらいいのでしょうか？

4. 株式会社と証券取引所

➤ 株式会社と証券取引所の深い関係

会社は、株主から集めたお金を株主に返す必要はありません。それでは株主は、どうやってお金に換えるのでしょうか。

株主は、その株式をほしい人に売ってお金に換えることができるのです。

株式を売りたい人、買いたい人は、日本だけではなく、世界中にたくさんいます。その中から条件にあった相手を見つけるのは、とても大変なことです。

そこで、売り買いをスムーズに行うために、株式の市場^{しじょう}が必要になります。それが、**証券取引所**です。



➤ 証券取引所と上場^{じょうじょう}

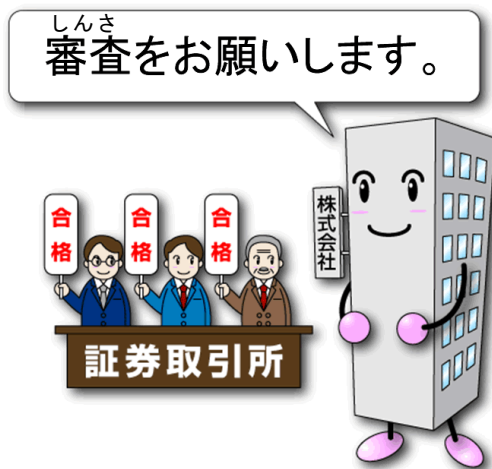
日本全国には、株式会社が約 170 万社あるといわれています。そのすべての会社の株式が、証券取引所で売買されているわけではありません。

証券取引所で売買される株式のことを、上場株式といい、株式を上場している会社を、**上場会社**といいます。

証券取引所で売買できる株式は、上場会社の株式だけです。

◆ 上場とは

会社が発行する株式を証券取引所で売買できるように、証券取引所が資格を与えることを言います。



◆ 市場区分の違いによって、審査基準も異なります。

プライム
市場

スタンダード
市場

グロース
市場

➤ 上場審査

証券取引所では、上場を希望する会社に対して、**上場審査**を行います。

上場審査では、上場会社としての責任^{せきにん}を果たせるかどうかについて、企業の成長性^{せいちようせい}や、安定した経営^{けいえい}を行うことができるか、また、株主にとって重要な情報を会社が正確かつ速やかに公表^{すみ}することができるかなどを調べます。

たくさんの条件をクリアして、会社は株式を上場し、証券取引所で売買を行えるようになるのです。

ただし、上場をしても、その後上場を取り消されてしまう場合もあります(上場廃止^{はいし})。

会社が倒産^{とうさん}したり、偽り^{いつわ}のある情報やウソの情報を発表するなど、上場会社としての責任を果たせない会社は、上場廃止が求められることもあります。

※上場会社に求められる責任

会社は安定
しているか/
成長が期待できるか



事業は健全に
行われているか

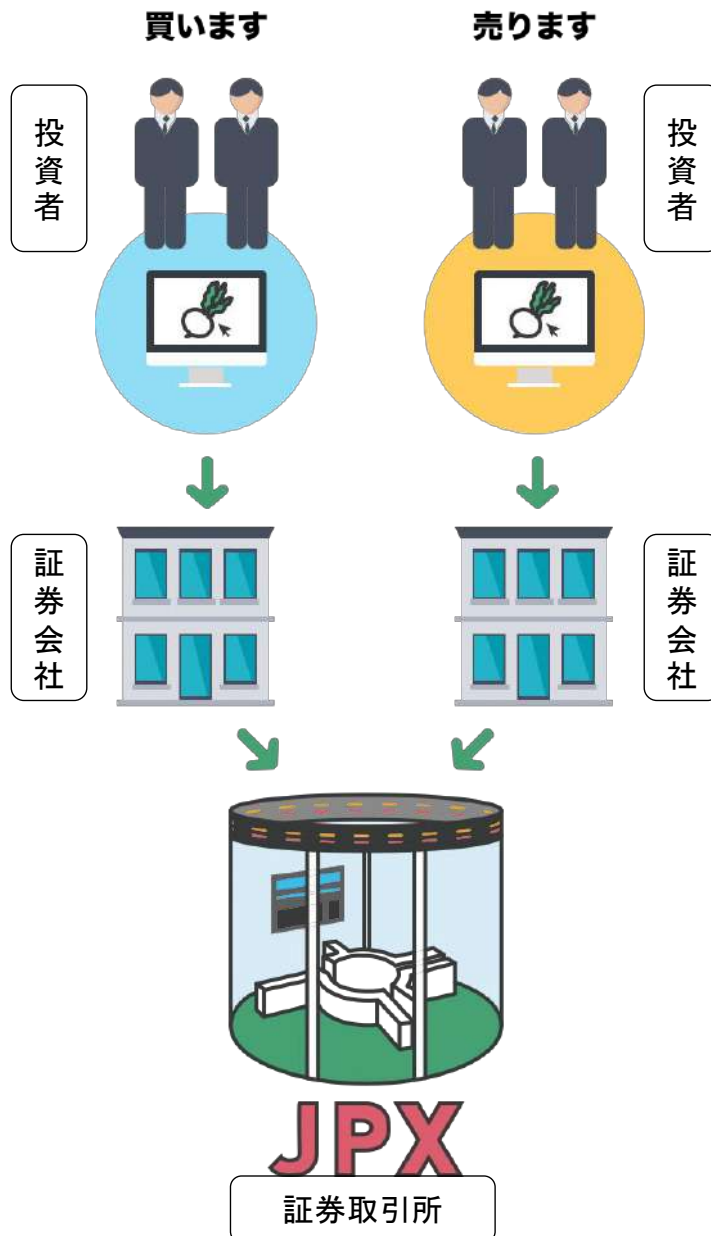
会社の情報を
適切に公表できるか



➤ 株式の売買

株式の売買をしたい人(投資者)は、証券会社しょうけんがいしゃを通じて証券取引所に注文を出します。

証券取引所には、多くの注文が集められ、ルールに基づいて、売買が成立します。売買が成立すると、証券会社から投資者に報告されます。



5. 証券取引所での取引のルール

- 証券取引所では、証券会社を通じて集められた注文がスムーズに取引できるよう、コンピュータによる売買システムを設けています。
- 売買が正しく行われるように、取引のルールを決め、取引を監視しています。
- 取引のルールには、^{かかく ゆうせん}価格優先の原則と時間優先の原則の2つがあります。(オークション形式)

① **価格優先の原則**

- 買い注文では最も値段の高い注文が優先
- 売り注文では最も値段の安い注文が優先

取引の方法ーリンゴにたとえとー

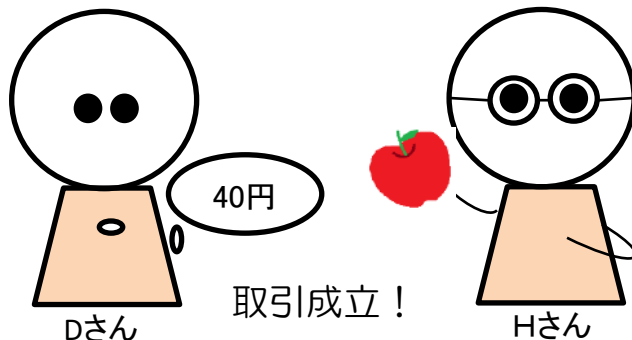
リンゴを欲しい人はいくらで買う？

10円	Aさん	Cさん	30円
20円	Bさん	Dさん	40円

リンゴを売りたい人はいくらで売る？

70円	Eさん	Gさん	50円
60円	Fさん	Hさん	40円

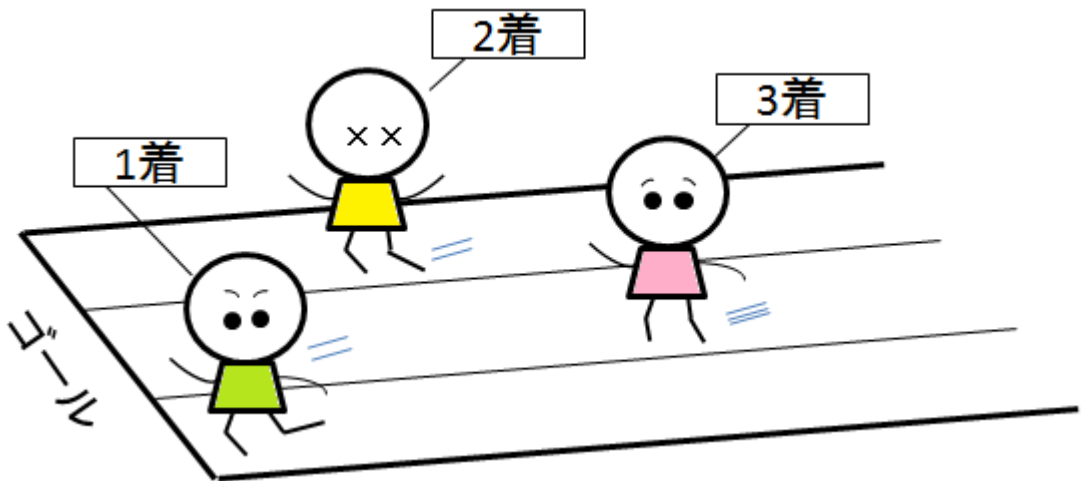
売る人	値段	買う人
Eさん	70円	
Fさん	60円	
Gさん	50円	
Hさん	40円	Dさん
	30円	Cさん
	20円	Bさん
	10円	Aさん



②

時間優先の原則

同じ値段の注文の場合、
受付時間の早い注文が
遅い注文より優先



それぞれの会社の株式ごとに、一番高い買い注文と、一番安い売り注文との間で取引が成立します。

もし、同じ値段での注文がある場合は、早い者勝ちになります。

早く出された注文から取引が成立するしくみです。

誰もが公平に取引できる
ルールになっているのじゃな



6. 証券取引所の主な仕事

◎いつでも安心して取引できるために

証券取引所では、そのほかに、どのような仕事をしているのでしょうか。

➤ 市場の監視

証券会社からの注文に、不自然な点や異常な点はないかなど、日々、リアルタイムで監視を行っています。また、売買に影響をおよぼす情報を収集し、取引が公正に行われるように監視をしています。

1日の取引が終わると、その日の売買監視情報の整理や分析などを行うほか、取引に関するルールなどの整備も行っています。

➤ 売買の審査

市場の公正性、健全性を確保するためには、不正な行為が行われないようにすることがとても大切です。

売買審査部門では、ルールにしたがって、売買が適正に行われているかどうかについてチェックをし、不自然な取引の早期発見に努めています。

不自然な取引が発見された時は、審査を行い適切な措置をとっています。年間約 2,000 件の審査を行っています。

➤ 上場会社のサポート

上場会社の経営内容や重要な会社情報は株価に影響を与えるため、速やかかつ適切に公表されているかをチェックしています（会社情報の適時開示）。

上場会社担当者の相談を受けたり、アドバイスをすることもあります。

そのほか、上場廃止の決定や上場手数料の受取り、上場制度の整備なども行っています。

➤ システムの開発・運用

証券取引所ではコンピュータを使ったさまざまなシステムを提供しています。システムが正しく、安定して動くことが非常に大切です。IT部門では、システムの企画や開発を行う仕事、そのシステムの品質について管理する仕事、システムの運用を行う仕事などたくさんの人が働いています。

世界最高水準の株式売買システムの開発にも日々挑戦しています。

➤ せいさん けっさい 清算や決済

株式が売買された後、株式と代金を交換することを決済といいます。東京証券取引所では1日に数百万件の売買が行われており、大量の取引をひとつずつ決済すると、スムーズな取引ができません。

このため、株式と代金のやり取りが確実にできる仕組みやシステムを提供しています。

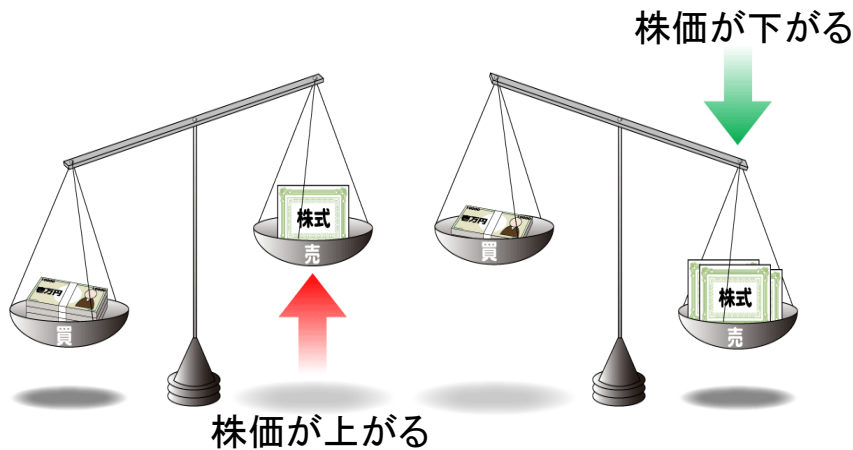
➤ 取引参加者等のチェック

証券取引所で取引をする許可を持っている証券会社等を取引参加者といいます。こうさ 考査・取引参加者部門では、取引参加者がきちんとルールを守って営業しているのか、財産の状況はどうかなど、検査をしています。

また、取引参加者の管理を行ったり、新しく取引に参加を希望する証券会社等について、取引をするにふさわしいかどうかなどの審査を行っています。

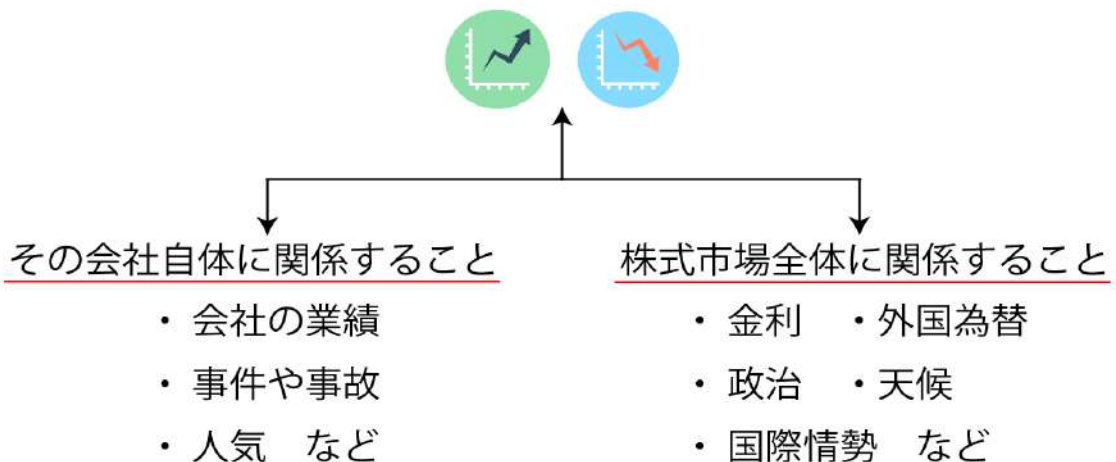
7. 株価はなぜ動くの

- 株価(株式の値段)は基本的に魚や野菜といった商品と同じように
じゅうよう きょうきゅう
需要と供給のバランスによって決まります。
- つまり、需要である「買い」が供給である「売り」より多ければ値上がりし、供給(売り)が需要(買い)を上回れば値下がります。



- 株価を動かす要因は、その会社自体よういんに関係することと、株式市場全体じたいに関係することに分かれます。

株価を動かす要因



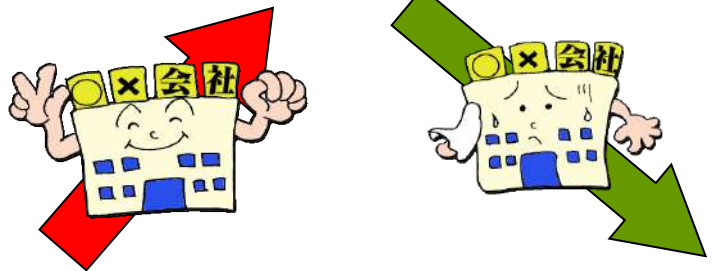
➤ 業績と株価

株価を決める最大の要因は、その会社の売上や、利益の額などを表す「業績」です。

赤字経営が続いて配当も払えないような会社の株式は買う人も少なくなり、^{ていめい}株価も低迷してしまいます。

売上げや利益が増えるなど、業績が良くなると予想されれば、配当が増えることも期待され、株価も上がってきます。

ですから、新商品がヒットしたりブームになったりすると、その会社が注目され、株価が上がることが多いのです。



➤ 人気と株価

株価は人気によっても左右されます。イギリスの有名な経済学者だったケインズという人は、「株式投資は美人投票のようだ。」と言っています。つまり、誰が美人投票で選ばれるかを当てるためには、自分が美人だと思う人を選ぶのではなく、みんなが美人だと思う人を選ばなくてはならないということです。

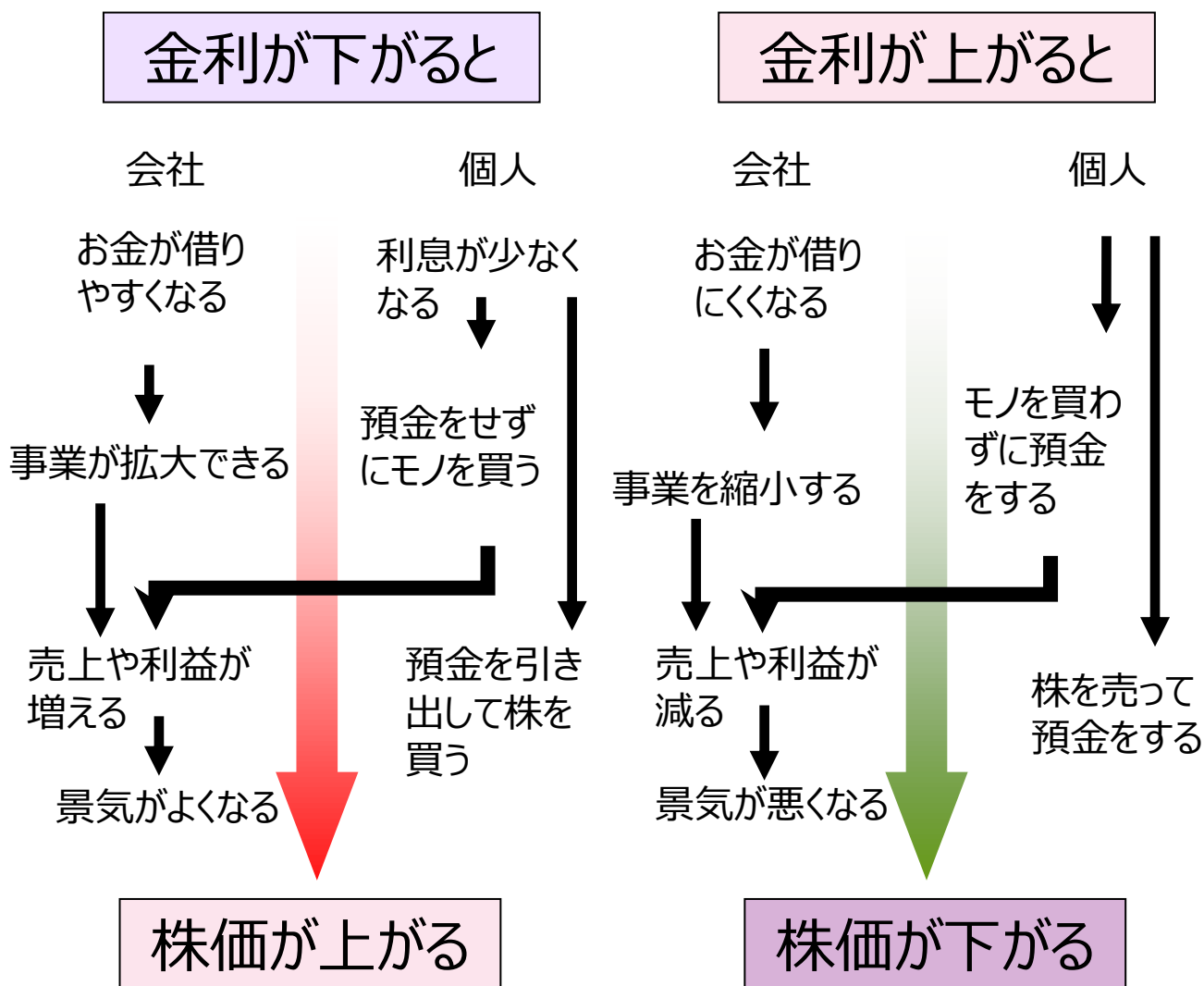
これを株式投資に置き換えてみると、多くの人が良い会社だと思わなければ株価は上がらないということになります。

➤ 金利と株価

きんり

金利(預金や借金に対する利息の割合)も株価に大きな影響を与えます。

一般的には、金利と株価はシーソーのような関係にあるといわれています。金利が下がると株価は上がり、金利が上がると株価は下がる傾向があります。



▶ 外国為替と株価

円やドルを交換する時の値段を決める外国為替相場の動きも、株価に関わってきます。

外国の通貨と日本円を交換するときの円の価値が高くなることを円高、円の価値が低くなることを円安といいます。



外国で大人気のチョコレートを1枚1ドルで仕入れている輸入の会社と、日本で作った車1台をアメリカで1万ドルで販売している輸出の会社があります。

さて、円高・円安の場合、2つの会社の利益はどうなるでしょう。

1ドル = 100円

輸入会社



1ドルで仕入れ

・・・100円で輸入

輸出会社



1万ドルで販売

・・・100万円で輸出

1ドル=120円

円安

輸入会社



チョコレート1枚を
1ドル=120円で輸入



20円利益が減る



株価が下がる

輸出会社



車1台を
1万ドル=120万円で輸出



20万円利益が増える



株価が上がる

1ドル=80円

円高

輸入会社



チョコレート1枚を
1ドル=80円で輸入



20円利益が増える



株価が上がる

輸出会社



車1台を
1万ドル=80万円で輸出



20万円利益が減る



株価が下がる

◆ これらをまとめると・・・

	円高になると	円安になると
輸出関連会社 (自動車や機械など)		
輸入関連会社 (原油やパルプなど)		

➤ 政治と株価

政治の動向も株価とは切っても切り離せない関係にあります。これは道路や橋を造るということや、税金を高くしたり、安くしたりといったことなど、景気に影響を与えるさまざまな経済・ざいせいせいさく財政政策が政府によって決まるからです。

ですから国会議員選挙の投票結果や、予算案の作成、経済政策に関する首相や財務大臣等の発言などにも株式市場は注目します。



➤ 国際情勢と株価

歴史的な株価の急落には多くの場合、国際情勢が影響しています。たとえば、ブラックマンデー（1987年ニューヨーク株式市場の大暴落）、米国同時多発テロ（2001年、テロ事件による世界的景気悪化懸念^{けねん}）、さらに、世界同時不況（2008年、米欧発の金融危機による世界景気後退懸念）、新型コロナウイルス感染拡大（2020年世界的に広まった感染症による景気悪化）などは、日本の株式市場にも株価急落という大きな影響を与えました。最近でも株式市場の国際化とともに、外国人投資家の動きが日本の株式市場に大きな影響を与えています。

➤ 自然災害、天候と株価

自然災害、天候なども株価に大きな影響を与えます。たとえば地震で大きな災害が起こると、被害にあった会社の業績は悪くなりますが、しゅうふくさぎょう修復作業によって、どぼく建設、土木関係の会社の株価は上がる可能性があります。

他にももうしょ猛暑が続けばアイスクリームや冷たい飲み物、エアコンなどの売上が増えることから、これらのメーカーの株価は上がりやすくなります。



- さまざまな要因で変化する株価。つまり株式市場は、経済や社会の動きを反映しています。
- テレビのニュースや新聞の記事などを通じて、「経済」や「社会」の動きに興味を持ち、それが、私たちの暮らしにどのような影響があるのか考えていくことができれば、みなさんの視野も広がっていくことでしょう。

身近な株式会社の株価を調べてみましょう

➤ 株価はどうやって調べるの？

株価はインターネットの検索サイトや新聞の株式欄から調べるすることができます。



➤ 株式欄の見方

銘柄	始値	高値	安値	終値	前日比	売買高
〇〇	100	108	100	105	△3	253

- ✓ 銘柄(めいがら): 会社名の略称りゃくしょう
- ✓ 始値(はじめね): その日最初に成立した値段
- ✓ 高値(たかね): その日成立した値段のうち最も高い値段
- ✓ 安値(やすね): その日成立した値段のうち最も安い値段
- ✓ 終値(おわりね): その日最後の値段
- ✓ 前日比(ぜんじつひ): 前の日とその日の終値の比較
△はプラス、▲はマイナス
- ✓ 売買高(ばいばいだか): その日取引された株数(単位は百株)

8. 東京証券取引所の歴史

【明治時代】



開設当初の取引所



明治時代の取引の様子

東京証券取引所は明治11年(1878年)に当時の実業界の有力者だった渋沢栄一氏などが力を合わせ「東京株式取引所」として兜町に誕生しました。(橋の向こうに見えるのが「東京株式取引所」)

当時の兜町には日本で初めての商業銀行「第一国立銀行」や、郵便制度発祥の「東京郵便役所」が設立され、日本経済の中心の一つとなっけていきます。

当時の取引の中心は、株式として日本で初めて上場された東京株式取引所の株式でした。広い場内では大きな声で取引が行われていたそうです。

【昭和初期】



当時の市場館と本館

大正12年(1923年)の関東大震災で兜町界隈は焼け野原になりました。その後、新築工事が行われ、昭和2年(1927年)に市場館、昭和6年に本館が完成し兜町のシンボルとなりました。

【昭和24年】



当時の立会場

昭和24年(1949年)第二次世界大戦後に、会員組織による証券取引所が設立されました。

【昭和30年代】



昭和35年(1960年)年頃の株券売買立会場です。電光掲示板が導入される前は、取引所の職員が黒板にチョークで株価を書いていた。

【昭和60年】



活気のある株券売買立会場

昭和60年(1985年)から平成11年(1999年)までに使われていた株券売買立会場です。当時、毎日約1500人、多い時では約2000人の証券会社の社員が手サインで連絡を取り合いながら株式の売買を行っていました。

【平成12年】



現在の東証アローズ

平成12年(2000年)5月
現在の東証Arrows(アローズ)が株券売買立会場跡地に開設し、すべての取引がコンピューターで行われるようになりました。

【平成25年】



平成25年(2013年)1月
東京証券取引所は大阪証券取引所と経営統合をし、「日本取引所グループ」(JPX)が誕生しました。

ロゴマークは、JPXがアジア No.1の市場を目指し、ダイナミックかつグローバルに発展・成長していく様子をイメージしています。

兜町の由来 ～兜神社～

明治4年9月、明治維新に貢献した褒賞として土地が三井組などに与えられた際に「兜町」と命名されました。江戸時代にこの場所にあった、牧野邸内の「兜塚」にちなんでのことだといわれています。

兜塚の名の由来には、「源義家が東国の平和を祈願し、兜を埋めて塚を造った」「源義家が戦勝祈願の際、兜をかけた岩が兜岩と呼ばれ、それが祭られていた」「平将門の首が兜と一緒に埋められていた」など諸説あります。現在兜岩は、東京証券取引所近くの兜神社にあります。



<郵便発祥の地>

明治4年、前島密(まえじま ひそか)の創意により、ここに日本で最初の郵便局が置かれ、東京～大阪間で近代的な郵便制度がスタートしました。

<銀行発祥の地>

明治6年政府の金融市場の近代化を図る方針の下に、日本で最初の銀行「第一国立銀行」がこの地に設立されました。当時は4階に塔屋(とうや)のある木造和洋折衷の建物でした。

【TOPIXと日経平均株価】

テレビのニュース番組では、「本日のTOPIXは〇〇ポイント、日経平均株価は〇〇円です。」とよく報道されます。これは、両方とも東京証券取引所のマーケットの動きを表したもので、株価指数というものです。

TOPIX(Tokyo Stock Price Index)は、東京証券取引所が算出・公表している指数で旧市場第一部全体の時価総額をもとに算出しています。

日経平均株価(日経225)は、日本経済新聞社が算出している平均株価方式の株価指数です。東証プライム市場の銘柄の中から業種ごとのバランスを考えて取引の多いことなどで代表的な銘柄225社を選びその株価を基に数値を算出しています。

学生向けWEBサイト スクールマネ部！～なるほど！東証経済教室～



株式や経済、投資について詳しく学ぶことができます。
東京証券取引所の仕事、歴史についても動画で分かりやすく説明しています。

URL :
<https://www.jpx.co.jp/tse-school/>



なるほど東証

検索

シミュレーション 人生やりなおし体験



もしも、あの時100万円を投資していたら、今どうなっているか…
そんな過去に戻って投資体験に
チャレンジしてみてください。

URL :
<https://jpx-game.com/simulation/>



人生やりなおし体験

検索

「株式ABC」を読んだ感想をお寄せください。

※学校名、名前は不要です。

https://form.jpx.co.jp/webapp/form/18912_kzbb_48/index.do



株式 ABC



東京証券取引所
(日本取引所グループ)



スクールマネ部! ~なるほど! 東証経済教室
WEBサイト <https://www.jpx.co.jp/tse-school/>